

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第1号
令和2年4月20日発行



文責 校長 小林貴英



4月7日に新入生66名を迎え、全校生徒203名による今年度の下田中学校がスタートしました。「こんにちは！」という元気な声が、校内のどこにいても私に向かって飛んできます。気持ちのいい学校です。感染症のために、過去に例のない状況が続いており、学校生活の様々な場面で行動が制限されています。生徒たちは感染拡大防止の意識をもち、登校直後の手洗いや休み時間ごとの教室内の換気をしっかりと行っています。部活動が休止となり、また、授業での話し合い活動も十分にできないこともあります。皆が笑顔を忘れずに、元気に学校生活を送っています。

始業式校長あいさつ（抜粋）

4月になり、みなさんは1つずつ学年を上げました。“3（2）年生になる”のは時間が来れば誰でもなれます。でも“3（2）年生である”には心掛けや努力が必要です。1つ上の学年になったことにふさわしい考え方・言動ができるように、一人一人が必要だと思うことを考え、それを実行してください。少しずつ3（2）年生らしくなってくれることを期待しています。

今日初日、みなさんはどんな気持ちをもっているのでしょうか。うれしさ、緊張、楽しみ、不安、期待・・・プラスの気持ちとマイナスの気持ちの両方があるはず。いつも気分がいいプラスの気持ちでいたいと思うのは人間誰もが一緒です。でも、マイナスの気持ちも少くらはあったほうがいいのです。マイナスがあることで、プラスがより輝きを増します。今日から始まる新しい学校生活において、いいこと・いい人にたくさん出合（会）います。嫌なことも少しだけあります。明るい気持ちでいることを心掛け、時には暗い気持ちも経験しながら、強くしなやかに成長できる1年にしていきましょう。